

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月29日

計画の名称	富士市下水道施設の再構築・耐震化計画（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	富士市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・管渠への浸入水の排除及び老朽化による管渠破損を防止するため、長寿命化対策を適切に行い、管路及び処理場施設への過負荷を防ぐと共に、安全・安心な市民生活の確保をめざす。 ・標準対応年数を経過し、老朽化の著しい施設について計画的な更新改築を行い、施設の不具合による処理機能停止の事故等を未然に防ぎ適切な維持管理を可能とする。 ・大規模地震の発生が想定される中、耐震性能の不足する施設について、計画的に耐震化を進め、地震に強い施設づくりをめざす。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,032	A	2,032	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	・平成26年度末現況値9.5%の管渠の長寿命化計画に基づく改築更新率を、5年間で70.7%まで増加させることにより老朽化による管渠破損を防止する。 管渠の長寿命化計画に基づく改築更新率(%) = 管更生済延長(m) / 管更生全計画延長(m) × 100	10%	50%	71%
2	・総合地震計画に基づく重要な管路と位置づけられた区間の人孔のうち早急に耐震化(浮上防止対策)が必要な104基の実施率を、平成30年度までに100.0%とする。 人孔耐震化実施率(%) = 耐震化済人孔数(箇所) / 耐震性能を必要とする区間の全人孔数(箇所)	0%	75%	100%
3	・耐震性能を求められる処理場全14施設の内、耐震補強を平成30年度までに4施設を実施し、耐震対策済施設現況値5施設から9施設へ引き上げる。 処理場施設耐震化実施率(%) = 耐震化済施設数(施設) / 耐震性能を求められる処理場全施設数(施設)	36%	50%	64%
4	・東部処理区における平成26年度末現況値0%の鉄蓋の長寿命化計画に基づく更新率を、5年間で71.7%まで増加させることにより老朽化による鉄蓋破損を防止する。 鉄蓋の長寿命化計画に基づく更新率(%) = 更新済鉄蓋箇所 / 更新計画鉄蓋箇所 × 100	0%	33%	72%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚水)	改築	東部処理区老朽管長寿命化計画策定	長寿命化計画策定	富士市	■					15		策定済	
	A07-002	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚水)	改築	東部処理区老朽管改築	改築L=1,536m	富士市	■	■	■	■		155		策定済	
	A07-003	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚水)	改築	西部処理区老朽管長寿命化計画策定	管路調査および長寿命化計画策定	富士市	■	■				68		策定済	
A07-004	下水道	一般	富士市	直接	富士市	—	改築	ストックマネジメント計画策定	SM計画策定	富士市		■	■	■		194		策定中		
A07-005	下水道	一般	富士市	直接	富士市	終末処理場	改築	西部浄化センター更新改築	水処理設備更新7,250m3/日	富士市		■	■			795		策定済		
A07-006	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚水)	改築	下水道管路耐震(地震対策)	人孔浮上防止104箇所、ポンプ備蓄10台	富士市	■	■	■	■		224		—		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	富士市	直接	富士市	終末処 理場	改築	下水道処理場耐震(地震対 策)	施設耐震補強4施設	富士市	■	■	■			179		—	
	A07-008	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚 水)	改築	東部処理区管路施設長寿 命化更新改築	鉄蓋交換N=335箇所	富士市		■	■	■	■		113		策定済
	A07-009	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚 水)	改築	西部処理区老朽管改築	改築L=1,676m	富士市			■	■			157		策定済
	A07-010	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚 水)	改築	管路施設耐震診断	管路施設耐震診断	富士市			■	■			32		—
	A07-011	下水道	一般	富士市	直接	富士市	終末処 理場	改築	下水道処理場耐震診断	下水道処理場耐震診断	富士市				■			96		—
	A07-012	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠(汚 水)	改築	下水道管路耐震設計	管路施設耐震実施設計	富士市				■			4		—
											小計					2,032				

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						2,032		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士市公共下水道事業関係部課で構成する富士市公共下水道事業評価委員会により事後評価を実施。	令和3年3月
	公表の方法 富士市ウェブサイトに掲載

○事業効果の発現状況

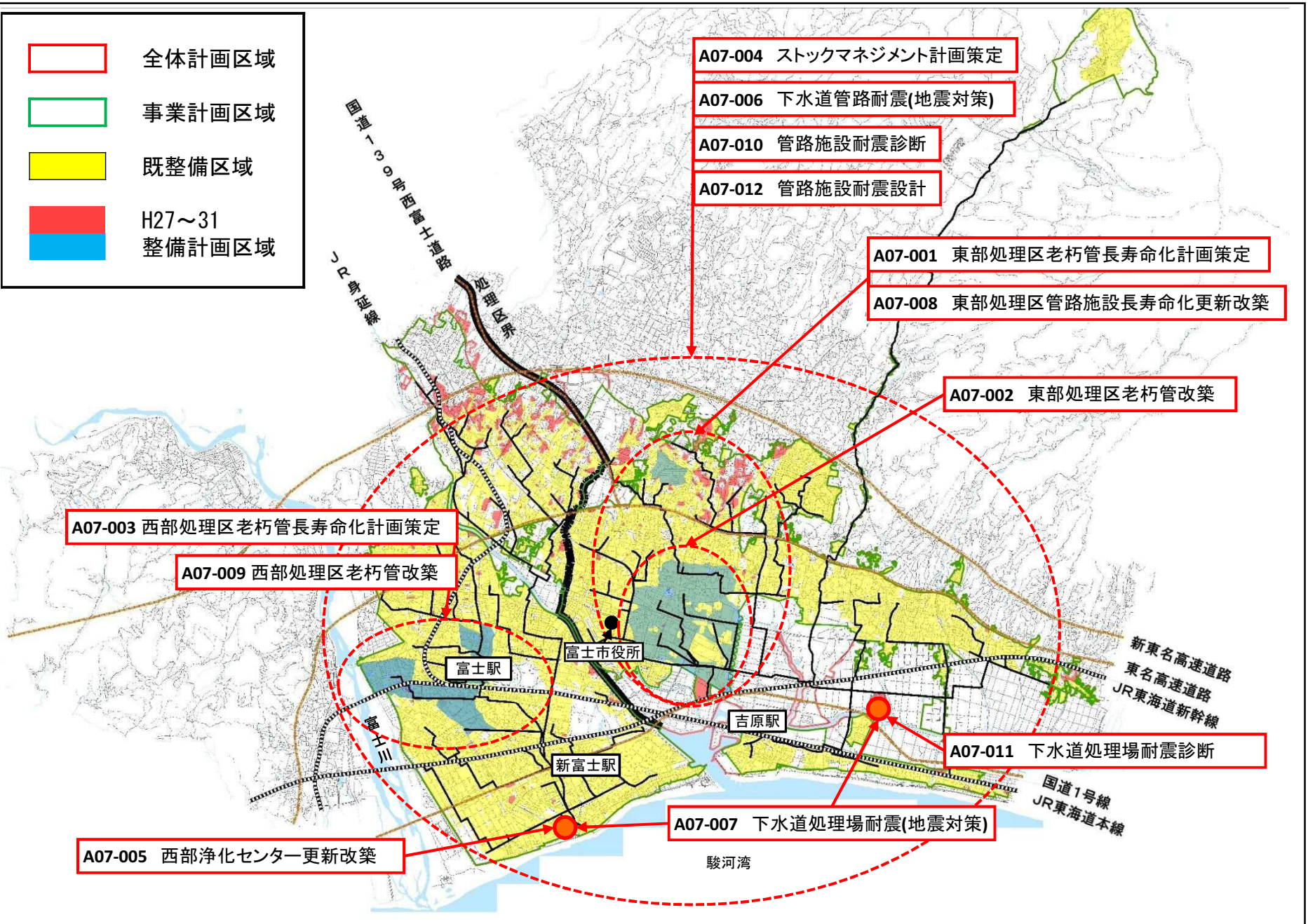
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で管路整備時期が古い旧吉原処理区及びJR富士駅周辺で管更生工法等による改築更新を計画的に実施したことで、管路に起因する事故や突発的な機能停止を未然に防止することができた。 ・重要な管路と位置づけられた区間の人孔のうち、早急に耐震化が必要な個所の耐震化を計画的に実施したことで、地震に強い人孔の構築を実現することができた。 ・東部浄化センターの水処理棟、沈砂池管理棟及び西部浄化センターの沈砂池ポンプ棟（高区）の耐震補強を計画的に実施したことで、地震に強い処理場施設の構築を実現することができた。 ・市内で管路整備時期が古い旧吉原処理区で鉄蓋の更新を計画的に実施したことで、鉄蓋に起因する事故や突発的な機能停止を未然に防止することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	A07-005 西部浄化センターの老朽化が進んでいた水処理設備の更新改築を実施したことで、当該設備の不具合による処理場施設の突発的な運転停止による放流水質に重大な影響を及ぼす事故等を未然に防ぎ、処理場の適性かつ継続的な運転が可能な状態を維持することができた。

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、富士市下水道ストックマネジメント計画に基づいた下水道施設全体の更新改築を計画的に図り、富士市の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与していくことで良好な水循環を形成するまちの実現をめざしていくと共に、地震災害に強い下水道施設づくりを推進していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	管渠の長寿命化計画に基づく改築更新率(%)	
	最終目標値	71%
	最終実績値	76%
計画的且つ効率的に管渠の改築更新を実施したことで、目標を上回る高い実績を上げた。		
2	人孔耐震化実施率(%)	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
計画的且つ効率的に人孔耐震化を実施したことで、目標を達成した。		
3	処理場施設耐震化実施率(%)	
	最終目標値	64%
	最終実績値	64%
計画的且つ効率的に東部浄化センター及び西部浄化センター内の処理場施設の耐震化を実施したことで、目標を達成した。		
4	鉄蓋の長寿命化計画に基づく更新率(%)	
	最終目標値	72%
	最終実績値	73%
計画的且つ効率的に鉄蓋の更新を実施したことで、目標を上回る高い実績を上げた。		

- 全体計画区域
- 事業計画区域
- 既整備区域
- H27~31
整備計画区域



A07-004 スtockマネジメント計画策定

A07-006 下水道管路耐震(地震対策)

A07-010 管路施設耐震診断

A07-012 管路施設耐震設計

A07-001 東部処理区老朽管長寿命化計画策定

A07-008 東部処理区管路施設長寿命化更新改築

A07-002 東部処理区老朽管改築

A07-003 西部処理区老朽管長寿命化計画策定

A07-009 西部処理区老朽管改築

A07-011 下水道処理場耐震診断

A07-007 下水道処理場耐震(地震対策)

A07-005 西部浄化センター更新改築